

【プラン名】

## 地域通貨 [<sup>ブチ</sup>Buchi] で周南の元気再生！

～～～ 地方通貨が生み出す地域経済の活性化と社会貢献グループ交流の深化 ～～～

提案者：西田次郎

(地域デザイン研究会所属)



Community  
which produces cooperation and pride

【目的】

自由にお金をドンドンと作って、困っている人に支給したり、社会生活に役立つことに活用して、地域の元気を再生していく・・・、そんな事が実現できれば夢のようなお話です。ネズミ講やニセ札は犯罪となりますが、私たち地域の多くの方々が認める地域通貨でしたら、それは夢ではなく実現も可能となります。

価値を循環させるという「お金」ですが、通貨が媒体する本来の価値はややもすると見失いがちです。グローバル化が進むにつれその傾向は顕著です。私たちが生み出している価値が、身近な地域の人たちと連携し、さらに向上していき、より一層豊かな価値となって自分たちの生活に還流して来るような「お金の流れ=地域通貨」の仕組みを作りあげることができれば素晴らしいことです。

【概説】

この通貨提案は、昨年応募の「新産業のイノベーション基地・道の駅」の中でも少し触れましたが、今回は発行母体のボランティアネットワークの連携・交流の可能性を含め、発行システム等にもスポットをあて、もう少し詳細で具体的なデザインを描いて周南市域の元気再生をデリバリーします。

平成の合併以降、未だ確かなシビックプライドを育みそこねている周南市民にとっても、元気を生み出す地域通貨は起爆剤となるでしょう。社会の為にも自分の為にも何かをやってみたいと思う多くの人達のモチベーションに火を注いで、みんなと一緒に元気良く動き出すには何と言っても「お金」が一番です。

【地域通貨の現状】

ボランティア活動で使われる「労力銀行や時間通貨」「エコマネー」のようなものから、地産地消の促進を中心にした「レギオ」コミュニティ内での価値共有を意識した「LETS」など、地域通貨の持つ意味と目的は、地域の特性やコミュニティの性格によって様々です。

然しながら、貨幣が本来持っていた「人と人をつなぎ相互交流を深めるリング」という役割、価値観やある特定の関心事項を共有し、それを伝えていくメディア本来の力を活用して、地域経済やコミュニティ再生の活力に応用しようという点では多くは一致していますし、本プランも同様です。

海外では、地域通貨の使命と目的に向かっての多くの成果・成功事例が示されていますが、日本国内での取り組みでは、商店街といった小さなコミュニティ内の買い物券的な取り組みは多く見ることはあっても、地域経済そのものを押し上げるような力強い地域通貨づくりは、まだまだ、これからの取り組みのようです。

## 【通貨発行の骨格】

周南市域・地域通貨「Buchi」の発行は、その目的のため市内の産物直売所・道の駅およびツーリズム施設などのブランド強化、地域経済の活性化を担いつつ、周南市における社会貢献グループ連携の深化と活動の集約を図るボランティアネットワークづくりと表裏一体となって成立します。

1、まず、**ボランティアネットワーク周南**（仮称、以降：**BNS**＝ボネスと略）を立ち上げます。

現在、周南市ボランティアセンターや社会福祉協議会に加盟されているグループや自治会、婦人会、子供会、活動有志の方々など社会貢献を目的とする団体とのネットワーク化を行い、情報交換を手始めに、共同企画のボランティアプロジェクトと民間ベースの防災・災害対策のテーブルを設定します。

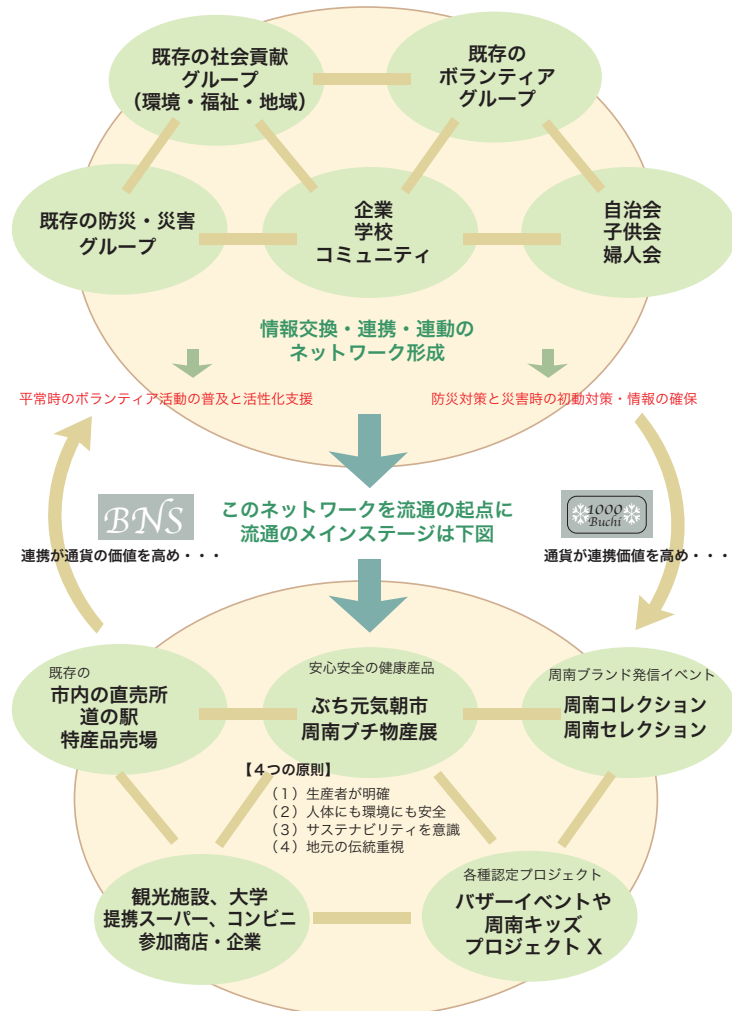
2、**BNS**＝ボネスの目的は、次の2点にまず集約されます。

A：平常時のボランティア活動の普及と活性化の支援、災害時の的確な初動のための情報確保。

B：地域コミュニティ活性のための連携促進と活動支援

3、この目的達成、および、運営資金を獲得する為に周南市域で流通する地域通貨「Buchi」を発行し、通貨流通の促進、管理、換金などの運用を行います。

## 地域通貨の発行を支える ボランティアネットワーク周南 (BN 周南)



リアルな価値と  
貨幣価値の誤差を  
埋める・・・

### 【Buchi の仕組み】

**BNS = ボネス**が発行する Buchi (ブチ) は 1b = 1円とする。(※紙幣の発行およびモバイル通貨)  
Buchi の流通・普及を促進に協力する**個人会員**と**地域貢献団体会員**および**企業会員**を募る。

A: 個人会員は、登録時に 1,000 円を支払って、★1,300b の支給を受ける。

(★また、300,000b までの無利子融資を受けられる)

B: 地域貢献団体会員は、10,000 円を登録費として、★300,000b までの支給を受けられる。(年次更新)

C: 企業会員は、Buchi を認め、商品やサービスを提供する。

(★円との交換権利を有する。その時の換金率は 100b = 95 円、5% の手数料は **BNS** へ)

### 【発行例】

1、団体会員が主催する認定プロジェクト (例えばゴミ拾い会とか・草刈り隊、観光ボランティアなど) を開催し、社会貢献グループの活動、コミュニティ活動の対価として、ボランティア参加者に支給する。

(★団体会員へは年間 300,000b までを無償支給する)

2、個人会員からの申請があった場合、BNS は 100,000b までを無利子で融資する。(※1年の完済期限)

3、BNS が主催するイベントや認定プロジェクトへ景品として提供 (★100 万 b まで)、参加者へも配布する。

(★一人約 300b 程度)

(ぶち元気朝市、ぶち元気物産展、周南コレクション、周南セレクション、周南キッズプロジェクト X、周南ワッショイバザー、周南パワースポット探検団、周南地旅・料理イベントなど、これらへの登録参加資格者は個人会員が原則とする)

### 【流通例】

1、道の駅や直売所をはじめ企業会員であるショップでの買い物・サービス提供に使用出来る。

(観光施設、大学内ショップ、提携スーパー、コンビニも)

2、個人的な労働の対価としても使用出来る。(草刈りや、代理購入など)

### 【中期目標規模】

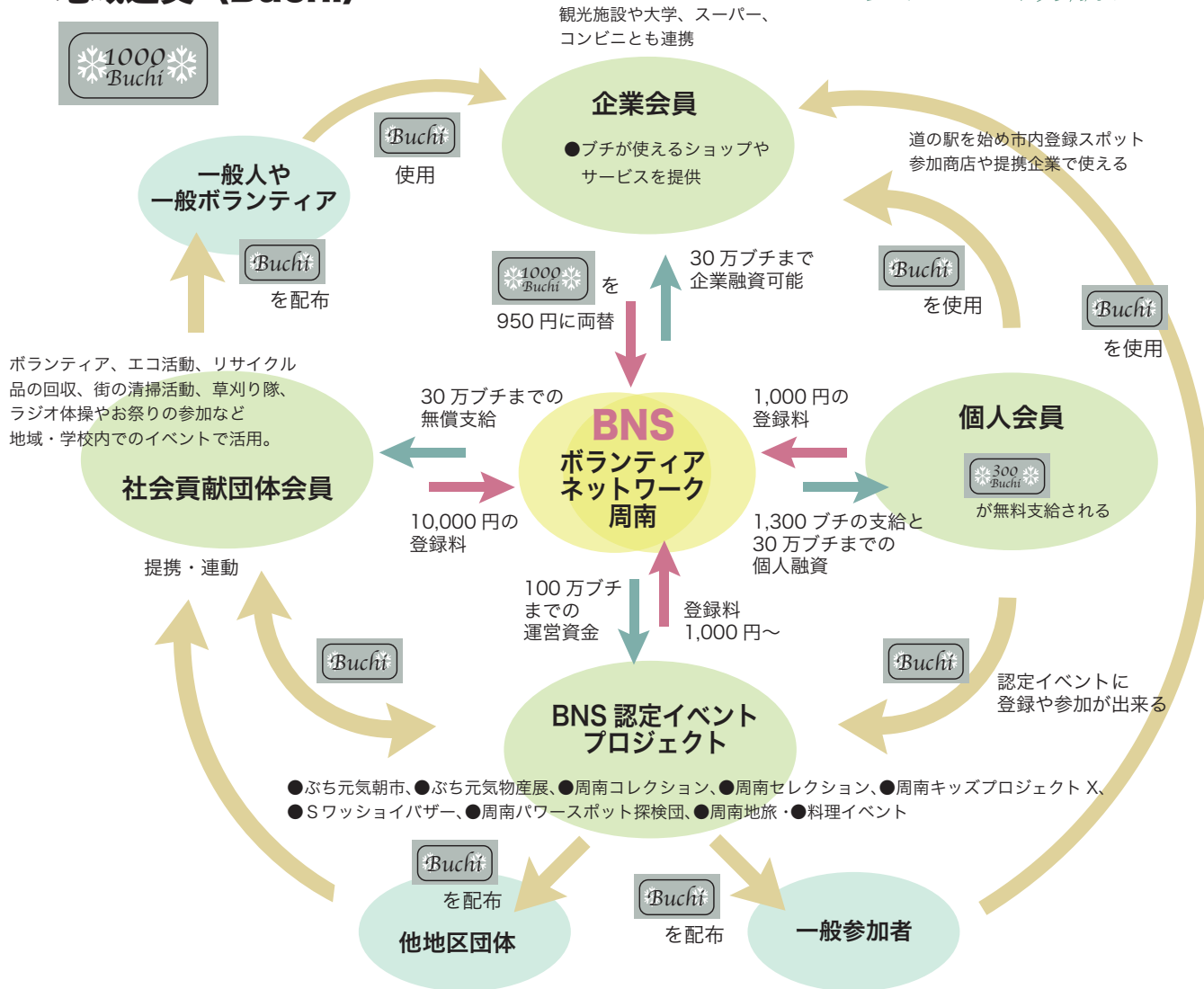
個人会員が約 2000 名、企業会員は 500 件以上、地域貢献団体会員は 200 件、3000 万ブチが流通、売上は年間 4 億ブチ (約 4 億円)、運用益は 2,000 万円、その内 350 万円以上を社会貢献団体へ寄付。

### 【波及効果】

- 1、地元産品への購買意欲向上、地産地消の促進、地域ブランドへの意識向上
- 2、スモールビジネスへの支援、動機付け
- 3、人と人、グループとグループの連携促進、深化
- 4、地元の文化や教育への支援
- 5、シビックプライドの育成

連携と循環を生み出す  
地域通貨〈Buchi〉

連携の還流を  
支える動脈



【まとめ】

法的にクリアする課題はあるが、Buchiには、小額ながら融資制度を設けている。経済基盤の弱い学生や若年層・高齢者や、子育てに忙しいママ達への、バザー資金や副業資金としての個人融資や、小さな個人商店や小規模農家向けには、企業会員として商品開発や新しい作物生産や連携の手助けになるような融資を行うためだ。

小さな力が、小さなビジネスを生み出して、地域力が向上へ作用します。モノを生産し、加工し、販売していく6次産業化を Buchi の流通圏の総体で押し進める事で、そのリアルな価値をそのまま循環しつつ、豊かな関係を伴いながら個々の生活に還流する事が出来ます。

大成功を納めているドイツ地域通貨キームガウアーの例を見ても、**価値が拡散するグローバルな時代に「地元を愛し」「地元へ回帰」するシステムが受け入れられたのは、人々の生み出す価値が、一層の価値を深めて私たちの周辺に巡り帰って来ることの大切さを証明したからに他なりません。**

この連携と循環の深化・進化が生み出すネットワークの価値そのものが Buchi なのです。そしてこれを基盤に取り組みされる社会貢献や防災・災害ボランティアにはより大きな稔りが結実する事と信じます。